

「地域共生社会」づくりを考える

～事例をもとに我孫子の福祉を知る～

「地域共生社会」に向けての施策が動き始めています。我孫子市でもこの地域共生社会の実現に向けて、地域住民や一般企業、NPO 法人、介護・福祉活動法人、行政等、多様な主体の協働によるまちづくりが求められています。

住み慣れた地域の中で、誰もが人権を尊重され、安心して暮らすことができるよう、制度やサービスの充実とともに、地域の住民同士が支えあう。



そんな我孫子であるためにはどうしたらよいのでしょうか。

このパネルディスカッションは、この「地域共生社会」の考え方を先取りしている事例の紹介などをもとに、我孫子市の関係部局などと意見を交換し、今後の我孫子市の地域福祉について一緒に考えましょう、というものです。

ふるってご参加ください。

「地域共生社会」とは？

厚生労働省が今後の施策の基本にしている考え方で、「制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」と定義しています。

開催日：2020年2月6日（木）13：30～15：00

場 所：我孫子市民プラザホール

対象者：あびこ市民活動ネットワーク会員のほか

一般市民の方のご参加も歓迎します。

参加費：無 料 事前申し込み不要

主催：あびこ市民活動ネットワーク 後援：我孫子市・我孫子市社協

●本チラシ案に関するお問い合わせなどは、あびこ市民活動ネットワーク 担当 吉田
(我孫子市柴崎台2-8-10 TEL 04-7181-0556 携帯 090-2169-6554)まで
お願いします。